

2025年(令和7年)

JGA 全国通訳案内士新人研修会

【関西地区】 Daily Report

第一日・2/15(土) 講義+京都駅ビルウォーキング実習

JGAの新人研修は終日の講義から始まります。旅行業法やコンプライアンスといった難しいけれど重要な話から、団券やクーポンの取り扱い、日本の旅行事情、食事の対応、お客様を案内する上での注意点など実務に直結した話まで、経験豊富な講師陣が体験談を交え説明します。新人研修は、スマホや生成AIが当たり前となった時代に求められる観光ガイドとはどういう存在なのか。生身のローカルな人間で、かつプロフェッショナルと認められるガイドに必要な知識やノウハウはどのようなものなのか、正解の無い問いを、



(講義会場キャンパスプラザ京都)

講師と共に参加者一人一人が真剣に考える機会です。
今年、通訳案内士試験に合格したばかりの新人よりも、既にガイドとしての仕事を始めている経験者が多く、地元関西からはもちろん、関東から11名、北海道、広島、石川、岐阜、愛知など各地から参加しています。登録言語も英語、中国語、フランス語、ポルトガル語、英語・ドイツ語と多彩で、初日から皆さん熱心に質問をされ、また受講生同士でも盛んにネットワーキングや情報交換をという積極的な姿勢が印象的でした。



夕刻からの京都駅ビルのウォーキング実習では、明日からの集合場所である八条口バス乗降場や隠れた写真スポットとしても人気の京都駅ビルの要所を探訪して、長くも充実した一日を終りました。

第二日・2/16(日) バス実習 伏見稲荷・大阪・関西空港・新大阪駅

バス実習初日、まずは伏見稲荷大社へ。8時過ぎに到着すると、もやがかかると稲荷山が神々しく、いつもはごった返している通りもまだ静か。駐車場の開場前や混雑で降りられない場合の24号線沿いで降車。ピンと張ったような空気の中を境内に向かいました。さて、どこまで歩くか、ある程度のサジェスションを与えるのもガイドの役目。今回は熊鷹社下で折り返しました。バス集合に少し不安



を覚えられた受講生の方もいらっしゃいましたが、皆さんきっちり集合で次の目的地、大阪へ向かいました。今年は京都マラソンが開催されるため、大阪実習からスタート。となるとロングドライブでの話題、車窓から見えるもの、日本らしさの紹介って何？「朝ドライバーさんをご紹介してご挨拶したでしょ、これももう日本らしさなんですよね。」と、日本の慣習となっている事も「らしさ」であることなど、テーマは尽きません。いえいえ、もっと前に戻って配車確認はどうするの？休日に確認する場合は？バス到着後の打ち合わせや、駐車場代のお金は預けるの？と、いろいろな役割を確認します。



大阪城では何を説明しますか？大阪のホテル出発だと、壮大な侍の話をしては終わらないですよ。テーマを絞るなどする必要がありそうです。そして道頓堀。何本も商店街があり、いつも人出が多い場所ながら、皆さんが迷わないように、千日前筋のアーケードをまっすぐまっすぐ進んで道具屋筋の入口までエスコート。みなさん地図を手に、昼食と自由行動。たくさん行かれないところがあったかもしれませんが、どのくらい回られたでしょうか。

昼食の後は、少し走って関西空港へ。成田や羽田に比べるとコンパクトです。お出迎えとお見送り、しっかり押さえておきたいところです。郊外へと走る間に車窓もどんどん変わります。工場地帯を通りますから、お迎えの際は質問も飛ぶかもしれません。空港では動線、お



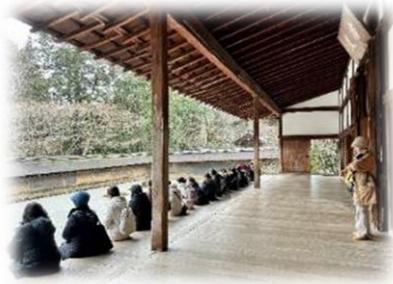
迎えの立ち位置の確認などを終えて、再びバスで大阪のキタエリアへ。お待ちかねのマイク体験をしながら梅田スカイビル空中庭園へ向かいました。屋外展望スペースに上がると夕日が美しかったこと。皆さんの記憶にも残ると嬉しいです。最後に大事な新大阪駅で団体の動線などを確認して終了。大阪でお食事して帰られた方もいらっしゃったようです。

第三日・2/17(月) 京都バス実習 + 東山・祇園ウォーキング

バス実習2日目は京都。龍安寺、金閣寺、二条城、平安神宮や京セラ美術館などのある岡崎エリアの車窓見学、三十三間堂、清水寺と、京都の主要観光地を大型の観光バスで巡り、最後は清水から祇園までの東山エリアを歩いて回ります。さすがガイド研修の受講生の皆さん、1人の遅刻もなく集合時には全員が揃って、気持ち良く実習を始められました。受講生中何人かは前日の伏見稻荷・大阪実習でたくさん歩いたせいで筋肉痛になっており、「今朝は足腰にしっかり湿布を張って来ました。今日も頑張ります」と気合を示してくれた人もいました。

初日の講義の際に講師から「京都では、通りに名前がついているので、バスや専用車のドライバーさ

んとは通りの名前を使ってルートの相談をします。バス実習の時までに今回の行程で通る名前を予習してきて下さい」と宿題を貰っていた受講生。それぞれ地図を手に車窓の景色と通りの特徴を確認しながら、ガイド役の講師が繰り出す、通りや運河の歴史、クルーズ・エクスカーションにお勧めのルート、西陣織、五山の送り火等々の多岐にわたるテーマについての彩りに満ちたガイディングを一言も聞き漏らすまいと集中して聞きつつメモも取っており、目も耳も手もフル回転です。



最初の訪問地、龍安寺では、京都に多い靴を脱ぐ観光地でお客様にどう説明してうまく靴を脱いでもらうのか、講師が実際に手本を見せながら説明してくれました。朝一番の拝観だったためか、幸運なことに他の拝観者がほとんどいない貸切状態で、あの有名な石庭の前で短時間ではありましたが受講生全員でお庭を見ながら「瞑想」し、静謐なひと時を堪能しました。

龍安寺の後は、午前中に金閣寺と二条城と、世界遺産巡りが続きます。

閑散期であるはずの2月であっても各訪問地には多くの訪日客の姿が見られ、2025年も前年に続き「史上最高」の訪日外国人客数を更新するという予測がなるほどと頷けます。

春の繁忙期には更に混雑することは明白で、それぞれの観光地における動線やバリアフリー対応、迷子防止&実際に迷子を出してしまった際の対策、渋滞時の対応、団体とFITの拝観手続きの違いなどの具体的かつきめ細やかな説明がバス車中で続きます。

二条城の後は、寺町通と御池通の交差点付近でバスを降車して昼休み開始。遠方から参加の多くの受講生は午前中、頭も身体もフルに使い、少しはゆっくりお昼を食べて休みたい気持ちをぐっと抑えて、錦市場や寺町通の人気のお店を確認する為に、足早にバスから離れて行きました。



バスでの実習は、清水坂の観光駐車場で終了。そこからは、まずは清水寺を拝観後、さらに京都らしい雰囲気の色濃く残る東山～祇園界隈のウォーキング実習で清水坂から産寧坂、二年坂と昔ながらの石畳の道を下りつつ、八坂庚申堂や八坂の塔も確認してから祇園へと。この頃になると、足は疲れ、集中力も途切れがちとなり、講師の話に耳を傾け続けるのにも努力が必要です。そんな中、一日中先頭に立ってずっと話を続けながら軽やかに歩く講師への尊敬の念が、更に大きくなります。ガイドは健康第一、体が資本、が身に沁みます。祇園観光の際に団体バスが乗降できる場所、止められるかもしれない場所も確認し、京都実習を終了しました。

な中、一日中先頭に立ってずっと話を続けながら軽やかに歩く講師への尊敬の念が、更に大きくなります。ガイドは健康第一、体が資本、が身に沁みます。祇園観光の際に団体バスが乗降できる場所、止められるかもしれない場所も確認し、京都実習を終了しました。

第四日・2/18(火) 奈良バス実習 + 名刺交換会・講義・修了式

奈良の実習では、京都観光の寺社巡りでお腹がいっぱいの後など、奈良のいろいろな魅力の伝え方を思い描きました。バス研修も三日目、二度目の小一時間の道のりを、今度は奈良町南観光案内所オリジナル観光マップの地図を広げてのオリエンテーション。一人一部しか持ち帰れないマップなので、皆さんには後で一緒に取りに伺うとして集合時に写真を撮ってもらいました。公共交通機関ですと、起点となる駅と寺社周辺しか回れないことが多いですが、バスやハイヤーなら道中の商業施設に寄ることも出来ます。覚えておくといい施設、それにまつわる講師の体験談は緊急時に大きな助けとなるもの。落ち着いた都市の奈良の落ち着いた地域を訪れる奈良観光ですが、知っておくといろいろあるのですね。



奈良公園バスターミナル到着後徒歩で東大寺へ。まずは南大門を通過して大仏殿から。比較的空いていましたので、このチャンスに名所の柱の穴くぐりにトライされた受講生がいらっしゃいました。大仏殿だけではなく、この後も鐘楼や二月堂など境内を巡りました。二月堂ではお水取りの準備で、油量りという行事が行われていました。若草山を通過して春日大社へ行く際も、みなさん通りのお店チェックに余念がありません。落ち着いた森の中を通り抜け、春日大社境内に入り二の鳥居をくぐって若宮、夫婦大黒社、御本社を巡り、バスで興福寺駐車場に移動後、最後の奈良町ウォーク。奈良町南観光案内所で解散後は、情緒ある街並みをみなさん思い思いに散策されたことと思います。

京都への帰路の時間も有効に最後のマイク体験。無事終えて、ほぼ予定時刻に研修会場へ到着しました。



午後研修会場に戻ってからは、まず旅行会社のガイドアサイン担当様より特別講義。今後のインバウンド・ツーリズムの予測や、求められるガイド像など、みんな真剣に拝聴しました。その後のQ&Aでは、具体的な質問がたくさん寄せられました。そして、会長から笑顔で修了証を受け取り、研修自体は終了。

その後に、お忙しい中ご来場くださった旅行会社様・人材派遣会社様等 10 社との名刺交換会。今年は既に業務経験のある受講生が多く、例年よりもさらに具体的な話ができたとの旅行会社様からのお声も聞こえます。

新人研修の修了は、ガイドとしてのスタートラインに立ったことを意味し、準備はこれで終了ではありません。訪日観光が、来日されるお客様にも、受け入れる地元の方にも気持ち良い出会い、笑顔の経験となるよう努めていきましょう。ご活躍をお祈りします！

オプション 2/19(水) ウォーキング嵐山実習



この日のオプション「ウォーキング嵐山実習」は、関西新人研修からの参加者に加え、一般募集枠のJGA会員・非会員の方達と合同研修として行われました。

2月らしい寒さの厳しい、雪が降りしきる日でしたが、受講生の皆様の大半は集合時間よりかなり前から元気にJR嵯峨嵐山駅改札に続々と到着。全員集合を待つ間に、講師から本日のウォーキングルートをマーカーで示した地図が回覧され、皆さまスマホでパチリと撮影。さらに研修スタート時には駅前広場にある大きな嵐山の地図の前で講師から改めて具体的なルート説明をしている最中にインバウンド観光客から竹林の路への行き方を質問されるハプニングも。山があり川があり四季折々の美しさのある嵐山では、今は冬期で休業中のトロッコ列車を含め、人力車や川下り船やボートなど、色々な乗り物も用意されており、様々なコース取りや乗り物について説明を受けてから、今日のウォーキングを開始しました。



まずは桂川沿いにある団体バスの駐車場や、観光ガイドとして忘れてはいけないトイレの場所を確認してから、嵐山を代表する名所「渡月橋」を渡って阪急の嵐山駅を目視確認。お子さんのいらっしゃるご家族に特に人気のモンキーパークの入口まで上った後、大堰川沿いのトイレで小休止。川の反対岸に並ぶレストランや料亭、ホテル等の有名施設について説明を受けてから、ウォーキングを再開、嵐山地区で一番のショッピングストリートである長辻通りを直進、竹林の小径に向かい、途中野々宮神社を經由してから大河内山荘へ。

大河内山荘の高台から京都市内の眺望を楽しんでから、亀山公園の展望台からも嵐山と大堰川の風景を眺め大堰川の岸边まで降りてから日本最初の史跡・特別名勝に指定された天龍寺の曹源池庭園を全員で訪問、庭園の出口を出たところでランチ休憩へ。約半数の希望者は、ランチ前に諸堂も拝観しました。



ランチ時間を兼ねた昼休みの自由時間を1時間強とってから、嵐山天龍寺前（嵐電嵐山駅）バス停で再集合の上、バスで愛宕寺前のバス停まで移動し、嵯峨野ウォークへ。近年インバウンド客に人気の高い愛宕念仏寺の門前でその歴史や魅力について講師より話を聞いてから、京都に4つしかない伝統的建造物群保存地区の一つである嵯峨鳥居本へ。400年以上の歴史を誇る美しい茅葺屋根の食事処や街並みを歩き、町並み保存館でこの地の歴史を学び、祇王寺や常寂光寺や二尊院、落柿舎等名所についても知識を深めながら、スタート地点のJR嵯峨嵐山駅前広場まで誰一人怪我もなく戻り、終日続いた雪に負けることなく全行程を無事に歩き切りました。ウォーキング実習を終了すると同時に、2025年関西地区の新人研修全日程を終えました。

今年の受講生の皆様の中にも、この春から観光ガイドとしてスタートされる方、今までよりもエリアを広げられる方、FITから団体ツアーへ、またその逆へと仕事の範囲を広げられる方、様々な方がいらっしゃると思います。京都で、大阪で、奈良で、または日本のどこかのガイドの仕事の現場でお会いできる日を楽しみにしています。皆さまと一緒に、日本の観光業を更に盛り上げていきましょう！